

令和4年度 第2医療系フォーラム実験小委員会 議事概要

- I. 日 時： 令和4年5月26日（木） 16:30～18:30
- II. 場 所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会
- II. 出席者： 片岡主査、神原委員、廣井委員、原島委員、山元委員、小原委員、中山委員、
二瓶委員、川島委員、井端事務局長、森下主幹

III. 資料

- ① 2022 学生用ガイド（案） 5-25-22
- ② 第1回委員会議事概要

IV. 議事概要

1. 本年度の実験授業について

前回の検討を踏まえて資料「① 2022 学生用ガイド（案） 5-25-22」に基づいて、6月1日（水）から実施する「実験授業」の目的、グループ、参加学生、学修プラットフォーム、授業の進め方、目指す能力、運営体制、学修成果、学修到達目標などを確認した。

【テーマ】

WITH（ウイズ）コロナ時代の持続可能な医療・健康生活を考える。

【目的】

将来が予測できない時代に、社会の課題を解決していくためには、答えが定まらない具体的な問題を、多面的に捉えて解決を目指すグループ学修が、生涯学修につながるアクティブラーニングとして極めて重要である。さらに医療系学部で多職種連携教育の実践が卒前に必修化される中で、本授業では、医療、福祉、栄養、情報コミュニケーションの学生グループが、ICT学修支援システムを活用して「WITH コロナ時代の持続可能な医療・健康生活を考える」をテーマに、多分野グループで協働し、論理的・批判的な思考力を訓練すると同時に、他分野の専門性を理解し、多分野の学生チームの中で問題解決に取り組む能力を身に付けることを目指した。

【グループ編成】

- ① 医学・歯学・薬学・看護学・栄養学・社会福祉学・情報コミュニケーション系の学生7名または8名程度のグループを2グループ編成する。
- ② 学生の選定は、小委員会の委員が所属する大学学部でポスターなどを通じて学生を公募し、承諾を得る。その際、個人情報等に取り扱いについて倫理委員会の規定を遵守する。

【学修プラットフォーム】

- ① プラットフォームは、無料で利用できる Google Classroom、Zoom、LINE などを利用する。
- ② 多分野グループ学修と自己主導型学修とを組み合わせで行う。毎回、授業終了後に理解できた点、できなかった点などの振り返りを行い、グループプロダクトと個人提出物などをグループ内で共有できるようにするため、電子掲示板機能、テレビ会議機能、チャット機能を準備し、ファシリテータ間で意見交流するサイトも設ける。

【授業の進め方】

①実験授業の目標

「WITH コロナ時代における持続可能な医療・健康生活を考え、多分野グループとして課題を発見し、課題についての解決策を提案する」ことを目指して、グループとして設定した課題に対して、各分野の強みを活かした解決策について、チーム間でのレビューを踏まえて解決策の構想をとりまとめ発表し、有識者の講評を受ける。

②5 コマの学修目標

<第1回> オリエンテーション、コロナ禍における実体験の共有

<第2回> お互いの専門性の理解、コロナ禍における医療、健康に関する問題発見

＜第3回＞ グループとして問題点の抽出、各分野の課題決定

＜第4回＞ 各分野で課題に対する対応策、解決策の検討

＜第5回＞ 各分野の課題と解決策の共有と討議、有識者による講評、振り返り

【実験授業で目指す能力】

※ 他の専門性を理解して、尊重できる。

※ 情報の収集と選別、根拠となるデータや情報を用いて問題発見ができる。

※ チーム全体の目標と動きの中で、自分の役割と専門性を位置づけることができる。

※ 多分野の意見を組み合わせて課題を設定し、解決策を提案できる。

(論理的思考力、批判的思考力、問題発見・課題設定・解決力、発想力、創造力などの向上を目指す)

【有識者等の意見交流】

小委員会の委員、大学教員、専門的知見を持つ有識者を対象に、ボランティアで協力いただく。

【授業の運営体制】

(1) 実験授業全体の責任者

片岡主査 (昭和大学歯学部)

(2) ICT 環境のサポート

二瓶委員 (北海道医療大学薬学部)

(3) ファシリテータ

① 小原委員 (日本社会事業大学社会福祉学部)

② 川島委員 (明治大学情報コミュニケーション学部)

【実験授業について】

(1) 2 グループで実施し、2 グループで授業を同時に実施する。

(2) 時間は18:00以降、1回90分を目処に学生の状況に応じて設定する。

1 回目 6月 1日(水) オリエンテーション コロナ禍における実体験の共有

2 回目 6月 8日(水) お互いの専門性の理解

3 回目 6月15日(水) 各分野の課題の決定

4 回目 7月13日(水) 各分野の課題に対する解決策の検討

5 回目 8月 3日(水) 各分野の課題と解決策の共有、有識者による講評

授業終了後 レフレクションポートフォリオと学修レポートの提出

【授業の評価】

(1) 学生個人の到達度は、授業で獲得する能力に沿ったルーブリックで評価する。

(2) WITH コロナ時代の医療、健康増進を実現するために、各分野で対応すべき課題と対応策について、学生一人ひとりにレポートを提出させ、その内容を授業成果として評価する。